

翌日は妙高山に登って、戸隠小舎に帰ったら、東京と岡崎から友人、女房が駆けつけていて、盛大な祝賀会になった。友人のお嬢さんはわざわざ大きなケーキを焼いて「山田さん につぼん百名山 完登おめでとう」のプレートを付けてくれた。

以上

(3)山田英暉君へー元登山部顧問からお祝いのメッセージ

山田君、深田久弥の百名山登頂の達成おめでとう。私も一度ならず志した難事業です。よくぞやってくれたと、心から快哉を叫びたい思いです。「名状しがたい喜び」とは、今の私のこの気持ちを言うのだらうと思います。

私が渋谷区立代々木中学校に赴任して2年目、校長の勧めもあり、職員会議の議を経て立ち上げた登山部に最初に入部してきた部員の一人が山田君でした。童顔の残る利発そうな少年でした。登山部発足の2年目に、谷川連峰の武能清水をベースに本格的な夏山合宿を実施した時、山田君は、健脚組の谷川連峰縦走隊に加わり、疲れ切った様子で帰幕した際の顔を今でも鮮明に思い出します。

わずか2年で私の手を離れ、山男としての成長していく様子は、本誌に詳しく述べられています。とにかく、私の手ほどきで山の魅力に取りつかれ、百名山登頂の達成までやり遂げてくれたことは、私の無上の喜びとするところです。喜寿を迎える年齢になった山田君ですが、これからもぜひお元気で山に親しみ、年齢相応の登山を続けてほしいと願っています。

渋谷区立代々木中学校元登山部顧問 高山昌之